

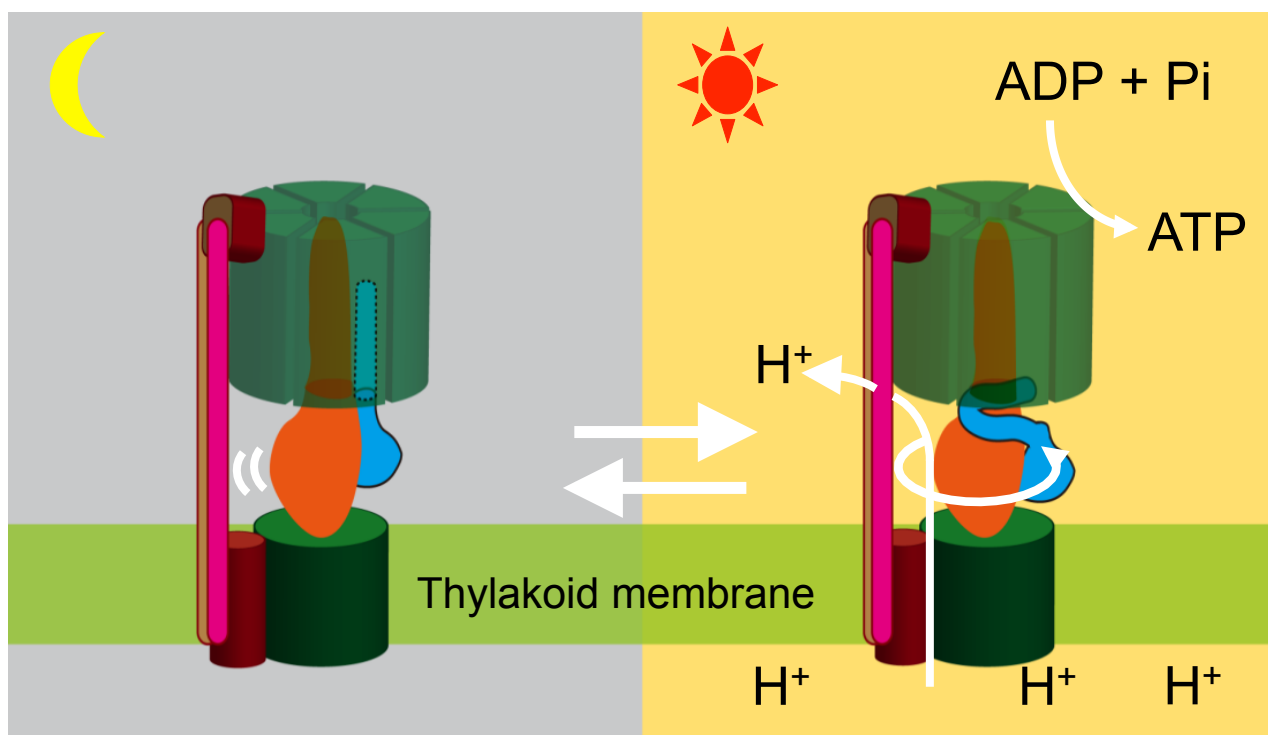
分子生物学科・環境科学研究センター 共催セミナーのご案内

「ATP合成酵素：生体内の分子モーターと その制御機構」

久堀 徹 教授

(東京工業大学資源化学研究所)

9月26日(木) 17:00～18:30 理学部3号館11番教室



ATP合成酵素は、生命の根幹を支える重要な酵素であり、原核生物から真核生物に至まで、ほとんどの生物はこの酵素が生み出すATPにその生命活動を支えられている。そのため、ATP合成酵素の全体構造は非常によく保存されている。ところが、この酵素の活性制御機構については、その生活様式に応じたバラエティーが見られることが明らかになってきた。なかでも、葉緑体のATP合成酵素は、光合成の電子伝達系と共役して炭酸固定に必要なATPを生産しているため、この酵素の活性は、光環境に適した形で制御されていると考えられる。私たちは、これまで1分子生化学と生化学研究によって、この酵素の制御に関して様々な面白い知見を得てきた。これらを総括して、この酵素がどのように進化して活性制御機構を獲得したのかを紹介する。なお、本セミナーは大学院集中講義「分子生物学特論3」の一環ですので、受講者は必ず聴講してください。

問い合わせ先：西山佳孝(分子生物学科)